

小学校建設 野球場等廃止の影響は

問

答

近隣施設活用で対応可能



議員 黒 沢 一 成
(無 所 属)



町民グラウンド（野球場等）を廃止し
山田小学校新校舎が建設される予定です

問 町民グラウンドの野球場、陸上競技場を廃止し、山田小学校新校舎を

建設する予定であるが、納得できない。町民への理解を得て進めているか。山田中学校のクラブ活動の環境が低下し、野球大会、陸上競技大会ができないものではないか。

佐々木教育長 建設計画は進捗に合わせて全員協議会で説明してきた。また、町内の体育団体に対しても座談会を開催しながら進めてきた。野球大会は総合運動公園野球場

を主会場に近隣市町の球場を活用することで対応可能である。小学校の陸上競技大会は児童数の減少に伴い大会の在り方も変化し、2年度からは宮古市運動公園陸上競技場を会場に宮古市と合同で開催されている。町外の児童とともに競技することで、団結力や競技力の向上などが図られている。

問

ネットいじめは

答

学校と連携して対応

問 いじめ、不登校の状況は。スマホの普及でネットでの誹謗中傷がたやすく行われる風潮が問題となる可能性があるが、町内では発生していないか。

教育長 3年度のいじめ認知件数は1月現在で小

学校81件、中学校19件、不登校は小学校6件、中学校21件。ネットでの誹謗中傷は、町内でも確認しているが、学校と教育委員会が連携して対応に当たっている。

問

企業誘致の状況は

答

条件に合った 用地確保が必要

問 この一年間での企業誘致活動内容は。

進出を見据えた事業用地の確保は、山田北イン

町長 3年度は、県企業誘致推進委員会と連携し、町内の工業団地や優遇制度などの情報発信に取り組んできた。現時点で、県外企業4社から事業用地の確保について相談があったが、条件に合致する用地がなく、誘致に至っていない。企業の

ターフル化の早期実現の観点からも重要であることから、羽々の下農工団地内の未取得用地の取得に向け、該当地地の不動産鑑定評価を実施した。

その他の質問

- ◆ 急傾斜地崩壊対策補助事業、県の事業との違いは
- ◆ 奨学金返還支援事業の内容は
- ◆ 登山道の整備状況は
- ◆ 田の浜団地の集会所の利用条件は
- ◆ 住宅建築促進事業の内容は